

男子複合決勝の原田海
IIインスブルック(共同)



原田(神大)4位 男子複合

世界スポート
クライミング

【インスブルック共同】

奈川大が4位に入ったのが日本勢最高で、表彰台には届かなかった。複合はスピード、ボルダリング、リードの3種目に臨み、各種目の順位を掛け算したポイントの少ない選手が上位となった。榑崎智亜は5位、藤井快(ともにTEAM)

au)が6位だった。ヤコブ・シューベルト(オーストリア)が制し、リードとの2冠を達成した。

女子は野口啓代が4位、野中生萌(ともにTEAM au)が5位。ヤンヤ・ガルフプレト(スロベニア)がボルダリングに続いて優勝した。

うまくいかず苦笑い

○男子ボルダリングを制した19歳の原田は、複合の表彰台にあと一步届かなかった。不得手とするスピードは4位とまずまずだったが、ボルダリングで5位と振るわず「きのう、15日のボルダリング決勝」みたいにうまくいかなかった」と苦笑いした。

今大会で「一皮むけた」と日本代表の安井ヘッドコーチが目を細める成長株。16日が祖母昇美さんの誕生日だそう、原田は「(金メダルの報告が)プレゼントになったと喜んでくれた」とうれしそうだった。